

マナティーと過ごす フロリダの旅

2010年1月23日～31日までの9日間のスケジュールで
WEB-LUE スペシャル・マナティトリップを行いました。

場所は、アメリカ合衆国、

フロリダ半島西海岸のほぼ中央に位置する、クリスタルリバー。

気温が下がり始めるといくつかの泉にマナティーたちが集まってきます。

4年ぶりに再開した人気のツアー企画。

今年もみんなでたくさんのマナティーたちと、じゃれ合うことができました！

Manatee the gentle giant

Photo & Text **Yasuaki Kagii**

Special thanks **INTO THE BLUE**

Design **Sana**☆

どうですか！こんな触れ合いもできるのです。マナティーって、可愛いでしょ！



どんだけ、かわええねん！



01

どーも
はじめまして

もっと
なでなで
してー

01/ マナティーの正面顔。微笑むような表情がなんともかわええ・・

02/ 指を咥えたようなマナティーの仕草。こんなに愛おしい生き物は他にいないかも！？

03/ どんだけフレンドリーやねん？遊ばれてるやんけ？？？



02



03

マナちゃん 





01

おっさんたち
腹出てまんない
人のこと
言えまへんけど



02

01/ マナティーと同じくらいボリュームのあるお腹！平和の生き物同士！(?)

02/ ほんとマナティーはよく眠る。あまりにものんびりしてるので、関西人の私はイライライラ…(笑)

03/ 突然、大きなあくびをした…、いったい誰？ですか？

マナティーは寝てるだけで、つまんない🐬

最初に向かった泉は、スリーシスターズ。3つの泉がつながる大きなエリアで、ここは透明度が高いので、マナティースイムの人気スポットでもある。気温、水温とも良い感じに下がり、この泉から湧き出る少し暖かな湧き水を求めてたくさんのマナティーが集まってくる。外の川と繋がる細い水路から、まるで通学するかのように、一列になって、マナティーが泉内に侵入してくる。侵入してきたマナティーは水深1.5～2mほどの砂地の上で俯けに横たわる。実はマナティー、このような休憩、お休みモードの時は、呼吸のために水面に上がる以外は、このうずくまった体勢でじっとしている。初のマナティー

スイムに参加したある女性ゲストが、「マナティーは寝てるだけで、つまんない!」と叫んだ……。

げえええ!!

女性には絶大な人気を誇るマナティー、のはずなのに、まさかこのような意見が噴出するとは…。確かに、スリーシスターズのマナティーはアクションは少ないが、高い透明度のなかで、ゆっくりとマナティーを観察することができる。正直、撮影するには打ってつけの場所。また呼吸のため、水面に浮上するときに見せる正面顔は口角が上がった笑顔になっているので、その表情が、これまた可愛い。またクリーニングを受けて気持ち

良さそうにしているマナティーやあくびをして豹変するマナティーも見応えがある。これらの表情はマナティーとゆっくりと過ごすことで、見えてくる魅力でもある。

私たちは5日間、マナティーと一緒に過ごした。「つまんない!」と叫んだ女性ゲストがどんな風に変化していったのか、最後のゲストボイスにあります！そこまで読んで下さい！(笑)

ふわー
ねむー



03

キングスプリングスで



早朝、キングスプリングスでたくさんマナティーが群れていた。
その様子はまさに圧巻だった

気持ちの良い写真を撮影するには、スリーシスターズが良いが、マナティーとのスキンシップを楽しむならば、もうひとつの人気エリアであるキングスプリングスがお勧め。サンクチュアリに囲まれ小さなエリアにマナティーがたくさん集まってくる。ここでは、水面に浮遊しているマナティーが多く、彼らの体を掻き掻きしたり、抱っこしたりと野生動物では考えられないようなスキンシップを十二分に楽しむことができる。また時間帯によっては、マナティーがぎゅっと凝縮して集まるときもあり、泉の中はまるでマナティー風呂のようになるときもある。透明度があまり良くないので、撮影には向いてないようにも思えるが、実は色んな表情が狙えるので、撮影にもお勧めの良エリアである。

ボートに興味を持ったマナティーが遊びにやって来た



マナティー風呂を楽しむ！！？🎵

マナティーと過ごすフロリダの旅
Manatee the gentle giant

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2010. Summer



Information Link
http://www.web-lue.com/magazine/img/vol05_007_manatee.pdf

🔍 関連情報HPへ

マナティーに会うための！大切な準備！

ウェット・ドライスーツ コレクション

参加したゲストが、マナティーに会うために、まず気を使っていたのは、防寒対策。水温は約22～23℃。これだけ聞くと「冷たい！」って思う方もいるかもしれないが、マナティースイムはダイビングではなく、スノーケリングなので、それほど体温を奪われることはない。早朝、湖面から蒸気が沸き立つ寒い朝は、エントリーするときに少し「ひやっ」と感じることもあるが、「寒くて堪らなかった……」というゲストはこれまでにひとりもない(笑)。太陽が昇りだすと、気温もどんどん上昇し、フロリダらしい陽光を楽しむことができる。お天気の良いお昼には、ボートの上にTシャツでいても良いくらい

だ。そのような条件だが、何よりも大切なのは、やっぱりウェットスーツの選択。お勧めは、3～5mmのウェットスーツにフードベスト。この準備でまずはOK。また中にはドライスーツのゲストもいる。少し重めのウェットを付けて泳ぐことが苦手でないなら、寒がりの人はドライスーツでも良いかもしれない。頭部は熱が逃げやすいため、フードはとても大切なアイテム。フード、またはフードベストは必ず用意したほうが良い。

そして、ボートの上では、ボートコートのような濡れたスーツの上からでも羽織れる防寒具があればとても便利。またはフードの付いたパーカー等でも十分な防寒になる。



フードベストは大切なので、是非、持参したい



01



02



03

オレは
マナティーじゃ
ない!!

がっば?!

01/こんな感じのウェットスーツでも十分、大丈夫

02/ボートの上では、ボートコートなどが重宝する

03/なぜか泉にカッパちゃんも登場!!!?

04/越智カメラマンはドライスーツで、マナティーの真似事!?



04



01

- 01/クリスタルリバーの幻想的な水草の水中風景
- 02/宿泊しているリゾートの温水プールにみんなでドボン!
- 03/アヒルの団体さんが、顔まきのおねえさんに付いて大行進
- 04/美しい紅色をしたフラミンゴの集団
- 05/フクロウの表情はなんとも可愛い
- 06/川魚の撮影もなかなか楽しい
- 07/川に落ちた流木も良い被写体となる

せーの!
イエーイ!!

アレ?!
私だけ
飛べてない?!



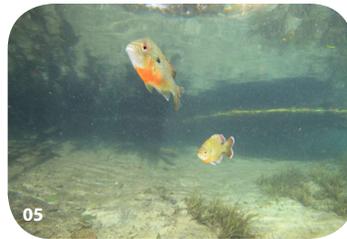
02



03



04



05



06



07

アフターマナティースイムのおたのしみ

マナティースペシャルトリップはボートをチャーターしているので、午前、午後とも十分にマナティースイムを楽しむことができる(1日最大6時間まで)。また、マナティースイムの他にも、近くのクリスタルリバーでドリフトスキndaイブングを楽しみながら、古代魚ガーの群れと会うことができる。川の中は海草が生い茂る、幻想的な雰囲気がある。約1時間、川の流りに身を委ね、マナティーとはまた違ったフロリダの

水中景色を楽しむことができる。また、ツアー中には、ホモサッサ・スプリングス・ワイルドライフパークに行き、保護されているマナティー、そしてフラミンゴやフクロウ、ワニなどにも会うことができる。そして、夕食はゲストみんなで近くのレストランに行く。ビールを飲みながら、チャイニーズやシーフード料理を楽しむ。マナティースイムなど話題の尽きない会話を楽しむのだ!



GUEST VOICE

マナティツアー行かない? と聞いた時、マナティと言ったら今まで水族館でせいぜい1頭か2頭しか見たことがありませんでした。それが川に何十匹、何百匹というってどんな光景だろう? と最初は想像が付きませんでした。

百聞は一見にしかず。

クリスタルリバーの文字通り、透通る美しいブルーの中に彼らは住んでいます。あっちにもこっちにも、足の踏み場もないくらいマナティがいて、しばらくすると、それぞれがそれぞれのタイミングでふわ〜と浮いてきて、鼻を水に浮かせて息をする。「あ、ごめん、ごめん。邪魔だよね」って思わずよけたくらい。

写真を撮るにも、バハマだと青色のグラデーションが多いけど、クリスタルリバーは水の色が緑から青に変化し、川沿いに木々がうっそうとしているので半水面で撮ったりするといろんな色が入ってきて面白いです。5日間くらいいるけど、毎日コンディションが変わるので全然飽きないです。

そしてマナティが、なんてかわいいこと!

今までかわいいのはイルカだけと思っていた私の印象が覆されました。赤ちゃんマナティがずっと私の横にいて離れようとしません。たまにグルグル回って「楽しいね、楽しいね」って言っているよう。私も一緒になって「楽しいね」って言いながらグルグル回っていたらマナティ酔いしましたけど。心が通じ合っている感じがしました。遊んでいると楽しいとか、もっと遊んでとか彼らの反応が私にも届いてきてとても嬉しかったです。

ツアーに行く前は「まあ1回行けばいいだろう」と思っていたのですが、ナンノナンノ。東京に戻ってきて今すぐにもクリスタルリバーに帰りたいです。



LILY (左) と知里さん

LILY



01



02



03

01/みずほさん(左)と五寿芽さん
02/左から、わかえさんと玲子さんと誠くん
03/左から、オヤビンと伊津子と金友さん。
あれ! 真理子がいない!!! ごめん!



左から安西さん、越智さん、藤岡さん

私はと言いますと、いやあ、参りました。マナティのフック(右? 左?)がじわじわと効いてきますねー。

初日は、水は冷たいわ、マナティは地面に鼻押し付けて、微動だにしないわで、あと5日間、どーやってマナティ参りを敢行できるものやらと、不安なスタートを切ったのに、2日目、3日目と通ううちに、みるみるマナティの虜になっていきました。

最初は、顔が小さいうえに目も梅干みたけだし、表情ないじゃん……とか、思ってたのに、いつしかマナティさんと目が合ったと狂喜し、なでなでしたら、マナティちゃんがωな笑顔になったと恍惚している自分おりました。

でもって、日本に帰ってきたら、目をつむると、透明なスリーシスターズの水の中、悠然とこちらに向ってくる神々しいまでのマナティ様のお姿が脳裏に浮かびます。なーんか、秒刻みの殺伐とした東京に比べると、マナティ達のぼよよんとした時の流れが、たまらなく懐かしくなります。やばいです。いろんな場所でいろんな時が流れるんですよ。

越智陽子

こんなに寒いところで水に浸るのは初めてで、一旦ボートに戻ってしまうと、ホテルのジャグジーに入ること頭がいっぱいでした。それでもマナちゃんの不思議な魅力には、日に日にじわじわと引き込まれていく感じで、一日ぼけーっと過ごす心地よさに浸って毎日が過ぎて行きました。

好きなシーンは、マナちゃんと一緒に透き通った細い流路を通り抜けて、まだ人が少ない神秘的なスリーシスターズに入り込むときや、水面近くに浮かぶマナちゃんの背中を搔いているうちに、くるくる回転し始めてお腹を向けてくるときや、周りに人がいないスリーシスターズの浅瀬で目を閉じて、親子のマナちゃんと一緒にぼーっと漂っているとき、などなど。

寒いのはつらいけど、あの穏やかなマナちゃん達が恋しくなって、また会いに行くことがきっとあるような気がします。

イクタ



お茶目な生田さん

来年もマナティーに会いに行こう！



何か考えごとをしているのか？もう憂げなマナティーの仕草



マナティーとの出会いはドラマティックでもある

大募集です！

2011年もマナティースペシャルトリップを開催します！

期間は2011年1月23日（日）～1月30日（日）

催行最小人数8名で募集人数が多い場合は、2週目を計画します。また、中3日の短い日程も考えております。

越智、鍵井両カメラマンがポートチャーター、換船、ポイントの選択などをさせていただきます。興味のある方は、まずは御気軽にご連絡ください。

➡<http://www.web-lue.com/top/categorise/global/reference.html>

●WEB-LUEバックナンバー

「マナティーに会いたい」

➡http://www.web-lue.com/magazine/img/webblue03_mnat.pdf

「みんなでマナティーに会いに行く」

➡http://www.web-lue.com/magazine/img/vol05_007_manatee.pdf

ムービーも公開中です！

➡<http://www.web-lue.com/movie/categorise/manatee/index.php>

待ってるよー！
ところで、
ボクのこと
見えてます？！

クリーニングされているマナティー。
いつもに増して無防備だった

